

# 続・サンタより愛を込めて

作 : 岡崎道成

演出 : 小川政弘

## ★登場人物

---

サンタクローズ

アンナ……サンタの妻

チャーリー……サンタの息子。ホーリーナイト・カンパニー(HNC)社長。

グレイス……HNC社長秘書

専務……HNC専務

ユカ……HNCオペレーター室

サム……HNC倉庫室

ミーシャ……HNC配送準備室

オペレーター1・HNCオペレーター室

オペレーター2・HNCオペレーター室

オペレーター3・HNCオペレーター室

ブラウン……レーナの父

## <前半>

---

### ー電話の呼び出し音

ユカ (電話の向こう)はい、ホーリーナイト・カンパニーでございます。

アンナ もしもし、あの、わたしアンナですけど。チャーリーの母親の。

ユカ あ、社長のお母様でいらっしゃいますか。

アンナ ええ。あの、お仕事すみませんが、あの子をお願いできますかしら。

ユカ 申し訳ございません、あいにく社長は仕入れに出ておまして。

アンナ あら、あの子、品物の仕入れもやってるの？

ユカ もちろん担当の者はおりますが、社長もよくご自分でお出かけになります。この時期になると体がムズムズするとおっしゃって。

アンナ (笑み)そう。

ユカ 戻り次第、そちらにお電話するようにいたしましょうか。

アンナ いえ、いないならいいわ。どうしてるかしらと思っただけなの。それじゃまた。

### ー電話切る

アンナ (モノ)あの子も、お父さんの子なのねえ。

N(アンナ) 息子の顔を思い浮かべながら、わたしは暖炉のそばのイスに腰掛け、編物の続きを始めました。わたしの名前はアンナ。夫は子供たちにクリスマスプレゼントを届ける、サンタクロースです。そして、わたしたちの一人息子チャーリーは、大きな会社の社長をしながら、サンタクロースを継ぐための修行中。一時は父親に反発して、自分の好き勝手に仕事をしていたんですけど、父親の愛情に気付いたとき、心を入れ替えたんです。あ、夫ですか。今プレゼントの仕入れに行ってます。もっとも最近は、夫が配るのはこの近所の子供たちだけで、ほとんどの配達はチャーリーの会社が引き継いでいるんですけどね。何しろ、チャーリーの会社は…(玄関を開ける音、サンタのただいまの声)…あ、夫が帰ってきたようです。

アンナ お帰りなさい。寒かったですよ。

サンタ ああ、何か温かいもくれんか。近ごろはめっきり風の冷たさがこたえる。わしも年かな。…で、どうじゃった、チャーリーは？ 電話したんじゃろ？

アンナ ええ、でも仕入れに出ていて留守でしたよ。…ねえあなた、そろそろあの子に、サンタの仕事をチャーリーんと譲るわけにはいかないんですか？ あの子も前とはずいぶん変わったわ。

サンタ そうじゃな…

N そう言うと、夫は、胸に着けた十字架の首飾りを手にとって、複雑そうな表情でそれを見つめました。その首飾りは、最初のサンタクロースが神様から渡されて以来、代々受け継いできた、大切なサンタクロースの印なのです。

アンナ やっぱ、あの会社が気に入らないんですか？

サンタ …チャーリーは、確かによくやとる。じゃが、どうもあの会社は落ち着かん。コンピューターか何か知らんが、わけのわからん機械がたくさん動いていて。あれで、プレゼントを待っている子供たちの顔が本当に見えるのか。…わたしには分からん。あの子に本当にサンタクロースを譲っていいのか、わたしにはまだ分からんのじゃ。

N そのころチャーリーの会社では、クリスマスを前に、次々とプレゼントの注文が入っていました。

—HNC注文受け付け室。オペレーターたちの声が重なるように応対

オペ1 …はい、ファンタジー社の 64 ビットコンピューターゲームですね。お所とお名前を

お願いします。…レイモンドさん、ニューヨーク市…

オペ2 …ホーリーナイト・カンパニーでございます。ご注文の品をどうぞ。…はい、絵本です。内容はどのようなものを？

オペ3 …そちらの色は、品切れになっておりまして、青ならございますが。…そうですか。では青いカバーということで。

ユカ はい、ホーリーナイト・カンパニーです。ご注文の品物をどうぞ。

ブラウン (フィルター音)もしもし、プレゼントの注文なんですが、まだ間に合いますか？

ユカ はい、今日まで受け付けております。

ブラウン (フィルター音)ああ、よかった。娘に頼まれていたんですけど、仕事が忙しくて、注文するのが遅くなってしまっ。ええと、カードを1枚お願いします。

ユカ はい。どんなカードがよろしいですか？

ブラウン (フィルター音)イエス様が小羊を抱えているのが欲しいんです。娘が展覧会で見て、すっかり気に入りましたね。大きいのはとても無理なんで、せめてカードをと思っ。て。

ユカ そうですか。それ1枚でよろしいですか？

ブラウン (フィルター音)あ、それだけでもいいんでしょうか？

ユカ もちろんです。わたしどもは、どんな小さな品でも、どんな場所でも、誠意を持ってプレゼントをお届けいたします。

ブラウン (フィルター音)ありがとう。娘も喜びます。

ユカ 娘さんのお名前は？

ブラウン (フィルター音)レーナ。レーナ・ブラウンです。

ユカ レーナちゃんですね。では、お所をお願いします。

一倉庫

ユカ サム！

サム やあ、ユカ。

ユカ カードの注文よ。ええとね、イエス様が小羊を抱えている絵のカード。在庫調べてくれる？

サム おいおい、自分のところにもコンピューターあるだろ。いつまでも人に頼ってると、覚えられないぞ。

ユカ いいじゃない。固いこと言わないの。

サム ちえ。おれも甘いよな。

一キーボードを叩く音

サム ええと、イエス様と小羊の絵だと、…ミッションカードの No.115 だな。おっと、ラスト

1枚だ。これでいいかな、今モニターに出てるやつ。

ユカ …へえ、すてきな絵ねえ。この、イエス様の小羊を見てる目が、とっても優しい感じ。

サム うん。『大丈夫だよ、安心をし』って言ってるみたいだな。

ユカ 1枚残っててよかった。レーナちゃん、きっと喜ぶわね。

サム じゃあ、これでいいね。ええと、引き当て済み、と。(ユカに)OK、取れた。後で配送準備室に回しておくよ。

ユカ サンキュー！ お礼に今晚夕食付き合っただげる。ごちそうしてね。

サム それはそれは、ありがとうございます。(2人笑い)

N そして今日はいよいよクリスマスイブ。世界中の子供たちが、一年で一番楽しみな夜を待っている日、チャーリーの会社は、一年で一番忙しい時間を迎えていました。品物を箱に詰めたり、きれいな包み紙のロールを裁断したり、リボンを付けたり、たくさんの社員たちが休みなく働いています。配達に使う何百台ものトナカイスクーターはピカピカに磨き上げられ、プレゼントが積まれるのを待っています。チャーリーも、朝から会社中を回って、あれこれ指示を出していました。

ー社長室のドアをノックする音

チャーリー はい。

ードア開く

グレイス 社長、コーヒーをお持ちしました。一休みして下さい。

チャーリー ああ、ありがとう。(飲みながら)グレイス、昨日注文を受けた分はどうなってる？ 父さんにサンタクロースのサインを頼んであったはずだが。

グレイス お昼前に戻ってきました。今、配送準備室で最終チェックを行っています。

チャーリー そうか。…わたしがサンタクロースの仕事をちゃんと継いでいけば、いちいち父さんに品物を届けてサインしてもらわなくても済むんだが…

グレイス でも仕方ありませんよ。正式なサンタクロースはまだお父様なんですから。

チャーリー 父さんは、いつになったら十字架の首飾りを譲ってくれるんだろう。今のわたしでは、まだダメなんだろうか。

グレイス いいえ、社長は変わりました。この会社を、ただ欲しがる気持ちを満たすための会社から、子供たちにイエス様を伝える会社に変えたじゃありませんか。お父様も、いつかきっと分かってくれます。

チャーリー ああ… そうだな。

ーインターホン

グレイス はい、社長室です。…お待ちください。(チャーリーに)社長、配送準備室からです。

チャーリー わたした。どうした? …カードが? ちゃんとチェックしたのか。…もう一度よく確かめるんだ。…ああ、見つかったら報告してくれ。

グレイス 何かあったんですか?

チャーリー どうも、プレゼントのリストに載っているカードが1枚、見当たらないらしい。

グレイス カードが?

チャーリー ああ、イエス様と小羊の絵のカードだそうだ。

N そう、それは昨日、レーナちゃんのお父さんから注文のあったカードでした。一抹の不安を胸に抱きながら、チャーリーと秘書のグレイスは、じっとお互いの顔を見合わせていました。

チャーリー どうも、プレゼントのリストに載っているカードが1枚、見当たらないらしい。イエス様と小羊の絵のカードだそうだ。

N サンタクロースの仕事を継ぐために頑張っているわたしたちの一人息子、チャーリーの会社で事件が起こったのは、クリスマスイブ当日のことでした。

チャーリー 最初から説明してくれ、グレイス。

グレイス はい。昨日の夕方、レーナちゃんのお父さんのブラウンさんから、カードの注文が入りました。プレゼントは配送準備室に集められた後、サンタクロースのサインをもらうために、社長のお父様の所に送ったんです。

チャーリー それで、父さんは何て?

サンタ(電話口)イエス様が小羊を抱いている絵のカード? うむ、あれはいい絵じゃよ。イエス様は、群から迷い出た1匹の小羊を、大切に思って探して下さる。あの絵を見ていると、イエス様に抱かれている小さな小羊が、まるで自分のように思えてくるんじゃ。…ああ、何じゃったかな。そうそう、サンタクロースのサインをしたかって? ああ、確か、レーナちゃんといったかの、送り先は? その子にもイエス様が届くとよいのう。…ところで、そのカードがどうかしたのかな?

チャーリー ということは、父さんのところでサインまではしてるんだな。そのあとは。

グレイス それが…

チャーリー ないのか?

グレイス ええ。

チャーリー とすると、戻ってくるときに森の中に落としたのかも。こりゃあ、厄介だな。  
グレイス 森の中は今探しています。間に合えばいいんですが。

ー専務、社長室のドアをノックしてすぐ入ってくる

専務 社長!!

チャーリー 専務。

専務 配達するプレゼントが1つないそうじゃないですか。

グレイス 大丈夫よ、きっと見つかるわ。

専務 グレイス、そんなこと言って、見つからなかったらどうするんだい。こりゃあ、信用問題だよ。で、品物は何なの。等身大縫いぐるみ？それとも最新のコンピューターゲーム？

グレイス カードよ。

専務 カード？

グレイス ええ、1枚のカード。

専務 …カード、1枚。

グレイス ええ。

専務 じゃあ、送り先がチョーお得意さんとか。

グレイス いいえ、初めてのところよ。普通のお客様。

専務 何だ、いや、総務部が必死で探してるって聞いたからさ、てっきりすごいもんかと思って。社長、こういうときは代わりの物を出すとか、あとでおわびに上がるとかすればいいんです。トナカイスクーターの飛び立つ真夜中の時報まで、あと3時間しかないんですよ。カード1枚のために、配達を遅らせることはできません。

チャーリー ああ、分かってる。…わたしも、森を探しに行こう。

グレイス わたしも行きます。

N クリスマスイブの真夜中の時報に出発できないと、それはもう、クリスマスプレゼントではなくなってしまうのです。2人が、森へ行こうとコートを羽織りかけたときでした。

ーノック

チャーリー どうぞ。

ミーシャ あの…失礼します。ちょっと、お話が…。

グレイス あら、配送準備室のミーシャじゃない。どうしたの？

ミーシャ あの、わたし、思い出したことがあって…。

チャーリー カードのことでかい？ 話してごらん。

ミーシャ わたし、サンタクロースの所から戻ってきたプレゼントを包んでたんですけど、絵

本を包んだ時に、カードが1枚挟まっていたんです。

グレイス 絵本の中に？

ミーシャ はい。わたし、絵本につけるしおりだと思って、そのまま一緒に包んじゃったんです。でも、さっきリストを確認してみたら、絵本とカードが一緒の注文なんかなかったんです。(今にも泣きそう)

グレイス それで、そのカードの絵は覚えてるの？

ミーシャ 確か、羊を抱いている羊飼いの絵で…

専務 それだ！ 社長、間違いありませんよ。

グレイス きっと、サンタクロースの所から戻ってくる時に混ざっちゃったんだわ。

専務 あ チャーリー、もうプレゼントはすっかりトナカイスクーターに積んじゃってるよ。

チャーリー どのスクーターに積んだか、分からないか？

専務 社長、絵本のプレゼントだったって、何干とあるんですよ。それ全部開けてたら、とても真夜中の時報には間に合いません。こりゃあもう、あきらめるしかないですね。

N チャーリーは、苦しそうに顔をゆがめました。

専務 社長、ご決断を。

N じつとうなだれていたチャーリーが、何か思いついたのか、急に社長室のドアに向かいました。

専務 あ、社長、どちらへ？

チャーリー …すぐ戻る。

グレイス 社長！

N 会社を出たチャーリーが向かったのは、ここ、わたしたちの家でした。

チャーリー 父さん、母さん…

アンナ チャーリー!? どうしたの、今ごろこんな所に来て？ もうすぐ配達の間じゃないのかい？

チャーリー …父さん… 父さん、僕は、どうしたらいいんですか！

N チャーリーは、その場に向かってとヒザを着きました。

サンタ プレゼントのカードが、まだ見つからないのか？

N チャーリーの様子から、夫は会社の状況を察したのでしょうか、黙って立ち上がると、奥から何かを持ってきて、チャーリーの前に差し出しました。

サンタ チャーリー、これが、イエス様と小羊の絵じゃ。

N それは、なくなったカードが載っているカタログでした。

チャーリー これが…

N チャーリーは、差し出されたその絵を見つめました。夫は、イスに座ってじっと目をつぶっていましたが、わたしは、どうなることかと心配しながら、チャーリーを見ていました。…と、食い入るように絵を見つめていたチャーリーが、ふいに目を上げたのです。それはもう、さっきまでの途方に暮れた目とは違って、何か心を決めたような、そんな目でした。

チャーリー 父さん、ありがとう。

サンタ 行くのか？

チャーリー ええ。

N そうして、チャーリーは、会社に戻っていったのです。

—社長室

専務 社長、どこへ行ってたんですか、こんな時に？

チャーリー グレイス、すぐ緊急放送の準備をしてくれ。

グレイス 分かりました。

専務 (モノ)緊急放送？

—社内放送

チャーリー 社員の諸君。なくなったカードのことは、みんなももう知っていると思う。調査の結果、カードは絵本と一緒に包まれて、すでにトナカイスクーターに乗っていることが分かった。しかし、どの包みがそうなのかは分からない。これからみんなで、絵本の包みを開け、カードを見つけてほしい。配達時間が迫っている。包みを開けてまた元に戻すのは大変な作業だ。しかし、カードは必ずこの中にある。探し出そう。

会社の信用のためではない。確かにそれは、何万というプレゼントの一つに過ぎない。しかし、レーナちゃんには、この1枚のカードがすべてだ。ほかのすべての子供たちにプレゼントが届いても、レーナちゃんに、イエス様が小羊を抱いているカードは届かない。我々は、たった一人の子供にでも、そんな思いをさせてはならないのだ。

グレイス (モノ)社長…。

N この放送を聞いた社員たちが、トナカイスクーターの駐車場に集まってきたのは言うまでもありません。いくらもたたないうちに作業分担ができて、プレゼントが次々と開けられ、また包み直されていきました。大勢の社員たちの思いが、1枚のカードを求めて一つになっていました。そして、しばらくたった時…。

社員 あった！  
社員たち (歓声、拍手、口笛など)

N こうして今年も無事、クリスマスプレゼントを積んだトナカイスクーターが、真夜中の時報とともに、夜空に向かって飛び立ちました。そうそう、このあとわたしたちも、チャーリーにすてきなプレゼントを贈ったんですよ。十字架の首飾り。そう、新しいサンタクロースの誕生です。夫は今回のことで、チャーリーが子供たち一人一人を本当に心にかけていることが分かったのです。夫がチャーリーにカタログを見せた時、夫はこのイエス様のみ心を息子に知らせようとしたんですね。これで来年のクリスマスには、チャーリーのサインの入ったプレゼントが、皆さんの所にも届くことでしょう。そして、いつもわたしたちが伝えたいこと、それは、皆さん一人一人を愛して大切に思ってお下さる、神の一人子、イエス様。今年も皆さんに贈ります。サンタより、愛を込めて。

<完>

---